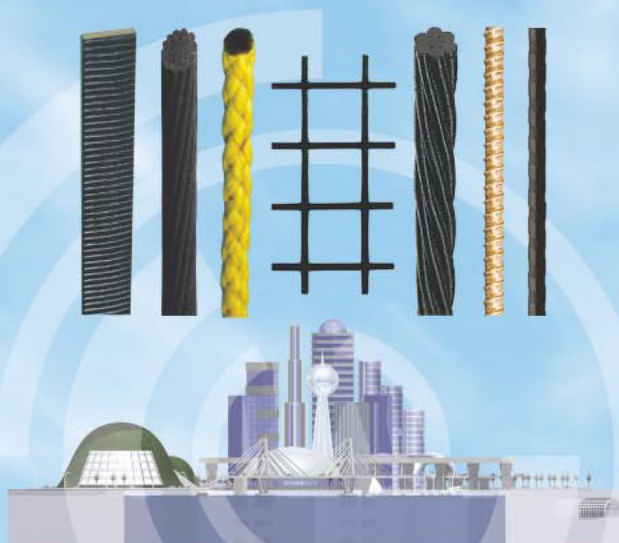


「連続繊維補強材に関する技術講演会」開催！

日時 平成19年11月2日(金)
13:30～17:30(受付時間/13:00～)

場所 北海道大学 学術交流会館
札幌市北区北8条西5丁目(TEL.011-706-2141)

共催 建設用先端複合材技術協会(略称:ACC)
北海道大学
北海道土木技術会コンクリート研究委員会



■ 特別講演

"BRIDGE DETERIORATION AND ONGOING CFRP-RELATED RESEARCH ACTIVITIES AT LTU" & "SIXTY MONTHS MONITORING OF THE FIRST CFRP PRESTRESSED CONCRETE BRIDGE IN THE USA"

「LTU(ローレンス工科大学)における橋梁劣化および炭素繊維補強材に関して進めている研究活動」および「米国でCFRPを初めて適用したプレストレストコンクリート橋の5年間に渡るモニタリング結果」

Dr.Grace(米国・ローレンス工科大学 教授)

■ パネルディスカッション

「構造物のLCCと連続繊維補強材の果たす役割」

●コーディネーター

上田 多門(北海道大学大学院工学研究科 教授)

● 会場案内



JR札幌駅より徒歩5分、北大正門すぐ

別途、開催案内をご参照の上、是非、参加のお申し込みをお願いいたします。

北海道地区での 施工事例



① 岩内町カストンネル工事(国道229号線)



② 薄別川治山工事



③ 南基地庫外軌道桁補強工事



アメリカでの 施工事例



① Bridge Street Bridge



●昨年度の技術講演会(仙台)の開催状況●



講演風景

平成18年度技術講演会は、11月28日に仙台で開催されました。当日は、約100名の大勢の参加者を集めて、テーマを「先端複合材が拓く補修に頼らない美しい社会資本整備」と題して行なわれました。

●テーマ

「先端複合材が拓く補修に頼らない美しい社会資本整備」

●特別講演

「近年の大規模地震の特徴とその教訓」

東北大学大学院工学研究科・鈴木 基行 教授

連続繊維補強材に関する技術講演会 開催のご案内

建設用先端複合材技術協会

(略称: ACC)[旧ACC倶楽部]

会長 野村 貞廣

拝啓 皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は多大なご指導とご鞭撻を賜りまして厚くお礼申し上げます。

さて、「建設用先端複合材技術協会」(略称: ACC)は、民間34社(建設業者・設計会社・材料メーカー等)で構成され、繊維強化複合材を含む先進的な機能性複合材の建設分野への多岐にわたる利用推進とその技術の普及および発展を目的とした団体でございます。

中でも、炭素繊維、アラミド繊維、ガラス繊維等の連続繊維補強材は、緊張材・補強材として使用される時、その耐食性、施工性、軽量性、耐久性などが極めて優れていることから、既に300件を超える実績を有しております。また、非磁性、非電導、機械的特性など連続繊維補強材独自の性質を応用した新しい分野の実施例も増加しております。

この度、ACC、北海道大学、北海道土木技術会コンクリート研究委員会の共催により、連続繊維補強材に関する技術講演会を企画いたしました。ACCおよび各種連続繊維補強材の紹介・適用例等を報告させて頂き、関係各位のご理解を賜りたいと存じます。

尚、当日は米国・ローレンス工科大学教授 Prof.Grace の特別講演と、北海道大学大学院工学研究科教授 上田多門先生をコーディネーターにパネルディスカッションをして頂くことになっております。

ご多忙中とは存じますが、何とぞご出席を賜りますようお願い申し上げます。また、ご参加された方にはCPD(継続教育)参加証明書を発行いたします。

敬具

記

日時 : 平成19年11月2日(金) 13:30~17:30

(受付時間...13:00~)

場所 : 北海道大学 学術交流会館 (JR札幌駅より徒歩5分、北大正門すぐ)

札幌市北区北8条西5丁目 TEL:011-706-2141

(会館事務室)

プログラム: 別紙の通り

参加費 : 無料(技術講演会、意見交換会とも)

共催 : 建設用先端複合材技術協会(略称; ACC)

北海道大学

北海道土木技術会コンクリート研究委員会

後援 : 社団法人土木学会(JSCE)北海道支部

社団法人日本建築学会(AIJ)北海道支部

社団法人日本コンクリート工学協会(JCI)北海道支部

お申込み : 10月24日(水)迄にFAXまたはメールで連絡先宛にお願いします。

[FAX] 同封用紙にご記入の上、FAXにてご返信ください。

[メール] 必要事項(会社名、氏名、所属部署・役職、等)を記載の上、連絡先(事務局)宛にメール送信して下さい。

【連絡先】 ACC 事務局 (小田 武治)

URL <http://www.acc-club.jp/>

TEL:03-3231-0690 FAX:03-3242-7584 E-mail:odat@ame.tokyorope.co.jp

《注》平成17年6月より「ACC倶楽部」は「建設用先端複合材技術協会(略称: ACC)」

(Association for Advanced Composite Technology on Construction Field)に名称が変更になりました。

以上

【 F A X 送 信 票 】

ACC 事務局 小田 武治 宛
FAX: 03 - 3242 - 7584

平成 年 月 日

連続繊維補強材に関する技術講演会 (平成19年11月2日(金)開催)
出席連絡票

出欠確認	出席する ・ 欠席する (いずれかに 印をして下さい)		
貴社名			
住所	(〒 -)		
連絡先担当者	氏名		
	TEL		
	FAX		
	E-mail		
出席者人数	総勢	名	
出席者氏名	所属部署・役職	講演会	意見交換会
		参加: 不参加: x	参加: 不参加: x
1			
2			
3			
4			
5			
通信欄			

【締切り】会場準備の都合上、10月24日(水)までにご返信ください。

【ご質問】当日の講演内容等のご質問につきましては、下記担当までお願いいたします。

ACC 事務局 (エ・エム・エンジニアリング株式会社内) 小田武治
〒103 - 8306 東京都中央区日本橋室町2 - 3 - 14
TEL: 03 - 3231 - 0690
FAX: 03 - 3242 - 7584
E-mail: odat@ame.tokyorope.co.jp
URL: <http://www.acc-club.jp/>

連続繊維補強材に関する技術講演会 講演プログラム

時間	講演内容	講演者
13:30 ~ 13:40	開会挨拶 共催者代表挨拶	北海道大学 上田 多門
	ACC挨拶	ACC会長 野村 貞廣
13:40 ~ 14:40	ACC紹介 材料紹介 ・材料の特性 ・適用事例(国内および海外事例紹介) 技術委員会報告 ・LCC検討報告	ACC委員
14:40 ~ 15:40	特別講演 "BRIDGE DETERIORATION AND ONGOING CFRP-RELATED RESEARCH ACTIVITIES AT LTU" & "SIXTY MONTHS MONITORING OF THE FIRST CFRP PRESTRESSED CONCRETE BRIDGE IN THE USA" (「LTU(ローレンス工科大学)における橋梁劣化及び炭素繊維補強材に関して進めている研究活動」 および「米国でCFRPを初めて適用したプレストレストコンクリート橋の5年間に渡るモニタリング結果」)	逐次通訳付き 米国・ローレンス工科大学 教授 Prof. Grace
15:40 ~ 15:50	(休憩 10分)	
15:50 ~ 17:20	パネルディスカッション 「構造物のLCCと連続繊維補強材の果たす役割」 コーディネーター 上田 多門 (北海道大学大学院工学研究科 教授) パネリスト Prof. Grace (米国・ローレンス工科大学 教授) 田口 史雄 (独立行政法人土木研究所 寒地土木研究所 上席研究員) 西川 忠 (北海道土木技術会コンクリート研究委員会委員) 中村 修 (ACC運営幹事長) 質疑応答を含む	逐次通訳付き
17:20 ~ 17:30	閉会挨拶	ACC運営幹事長 中村 修
17:30 ~ 17:40	(休憩および移動 10分)	
17:40 ~ 19:30	意見交換会 (北大構内 きやら亭)	

* 講演者は都合により変更される場合がございます。

* カタログ・資料等は当日配布いたします。

